

市議団ニュース

連絡先 2020年12月20日号
 杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058
 石田利春 52-7260 平間益美 23-9519
 【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】
 「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

埼玉県指定診療・検査医療機関 新型コロナとインフルエンザ両方の 診療・検査に対応します！



◆発熱などがある場合受診できる病院を公表！

事前に予約又は電話連絡してください。

◆受診・相談センターから案内を受けた患者や

初心患者等広く受け入れる病院

- ◆愛生会内科・婦人科クリニック久喜市久喜中央 0480-21-0721
- ◆医療法人 土屋小児病院 久喜市久喜中央 0480-21-0766
- ◆おのクリニック 久喜市青毛 0480-22-5222
- ◆久喜メディカルクリニック 久喜市下早見 0480-25-6555
- ◆埼玉県済生会栗橋病院 久喜市小右衛門 0480-52-3611

◆自院のかかりつけ患者のみ

【久喜地区】

- ◆新井医院 久喜市久喜北 0480-23-5350
- ◆医療法人 新井医院 久喜市久喜中央 0480-21-0070
- ◆久喜江面クリニック 久喜市江面 0480-25-1101
- ◆斎藤医院 久喜市本町 0480-21-0170
- ◆野原医院 久喜市本町 0480-24-2011
- ◆宮本医院 久喜市久喜東 0480-22-4484
- ◆吉田内科クリニック 久喜市久喜東 0480-29-2770
- ◆よしば診療所 久喜市吉羽 0480-26-7200

【鷲宮地区】

- ◆朝比奈医院 久喜市西大輪 0480-59-1111
- ◆医療法人 紫陽会 高橋医院 久喜市上内 0480-58-8787
- ◆東鷲宮病院 久喜市桜田 0480-58-2468

【栗橋地区】

- ◆浅川医院 久喜市栗橋東 0480-52-0114
- ◆さかた内科クリニック 久喜市伊坂 0480-55-2390
- ◆南栗橋脳神経クリニック 久喜市南栗橋 0480-55-1141

年代別人数	
幼児	6
10	8
20	30
30	14
40	14
50	27
60	11
70	7
80	10
90	1
128名	

月別感染者数	
4月	3
5月	1
6月	1
7月	18
8月	9
9月	16
10月	11
11月	37
12月	32
128名	

久喜市の感染状況です
 (12月15日現在)

久喜市の陽性者状況 12月1日現在(累積106名)

現在の患者数	入院中	宿泊療養	自宅療養	退院
21	13	4	4	85

社会的検査を進め、生業に支援を！

- ◆今、全国で感染が拡大しています。新型コロナウイルス感染の特徴は、陽性になっても無症状期間が長く感染が拡大してしまうことです。
- ◆病院をはじめ、福祉・介護施設など感染リスクの高い箇所から「面的に、定期的に」PCR検査をすることが必要です。
- ◆見えない敵を封じ込める意味でも、広く面的な社会的検査が必要です。

補正予算でPCR検査費助成へ！

- ① コロナ PCR 行政検査の費用支援へ 372万8千円
 1. 対象・手続きは・市内医療機関の紹介でPCR検査を4月1日以降に受けた久喜市民の方。健康保険が適用となり、本人負担分を「1年以内に」申請をする。
 2. 費用は・3割負担の場合で、最大1780円が助成される。(初診・再診料、検体採取料、院内トリアージ)
 ※院内トリアージ料：問診や聞き取りで治療順位を判断する費用。
 3. 期間は・1年で2000件を予定。不足の場合は、改めて検討する、とのこと。
 ※議会での議決後、要綱を作成後、ホームページにも掲載予定
- ② 高齢者インフルエンザ予防接種、自己負担を無償に(10月1日から2021年1月31日) 8896万2千円

フタごみ燃やさないで！ 請願署名推進にご協力を！

- ◆議会の教育環境常任委員会では、審査の中で、市が出した議案の資料に、重大な問題があることが判明。「条例を提案する根拠」が揺らいでいます。15万市民に対して、十分に納得のいく説明をする必要があります。
- ◆市は「分別の負担を軽減する」ことも理由にしていますが、市民の「再生して資源化を」の思いをかえって、ないがしろにすることになるのではないのでしょうか？

◆プラスチックは燃やさずに、
 みんなで資源化を進めよう！
 請願署名に一人でも多くの方
 のご協力をお願いします！



コロナ感染者拡大・悪化に社会的検査で対応を！

渡辺まさよ

久喜市所久喜705-3



プラごみ焼却の環境問題はSDGsの目標に沿った焼却にすべき

問 SDGsの目標（2030年までに、廃棄物の発生防止・削減に取り組む、再生利用及び再利用により廃棄物の発生を大幅に削減する）に具体的にどう取り組むのか。

答 廃棄物の発生削減のため、ごみの有料化の検討や市民への更なる啓発、事業者への働きかけに取り組む。

問 廃棄物の発生削減は当然。再生利用、再利用はどう進めるのか。

答 市としてはごみの減量化にこれまで以上に取り組み、発生抑制、削減をしていく。

問 国も「プラスチック資源循環戦略」で「持続可能な分別回収・リサイクル等を適正に推進するように検討する」としている。法の見直しがされる中、久喜市は逆行せず、迅速な対応を求めるが。

答 容器プラを熱回収することで資源としての有効利用を図る。

意見 質問に答えていない。リサイクルは市民と共に進めてきた。熱回収とリサイクルは違う容器プラのリサイクルはこのまま継続し、SDGsの環境問題の取組に沿った炉となる選択をすべきだ。

久喜駅西口周辺まちづくり検討事業の今後の計画は

問 土地、建物などの現地調査、地価や人口などの実態調査やアンケートの進捗は。

答 調査は終了。アンケート実施後まとめて事業案をいくつか作り、住民説明会で提示する。意見を伺い理解をいただき基本構想を検討する。来年5月ごろを予定している。

杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1-504



コスモスロードと県道12号線の交差点に、手押し信号設置を

問 近隣住民、保護者からいただいた要望である。ロードは、鷲宮中学の通学路になっており。12号線は通学の時間、車はひっきりなしでしかもスピードが出る区域。手押し信号は必要だ。ロードをジョギングや、ウォーキングに使う市民も多い。安全確保は喫緊の課題と思うが、市はどう認識しているか。

答 危険性があり、安全対策は必要だ。久喜警察にも信号設置の要望を提出している。

意見 認識は一致したので、速やかな手続きと設置を求める。

介護保険制度の8期計画に向け現場の声を反映した計画に

問 要介護ながら、施設入所できず、家族が介護して大変さを抱えている。小学生から高校生、若い家族が介護している実態を。

答 小学生は把握していない。16才から20代が介護する家庭は、675人中で5人いた。

問 市内で小学生が短時間だが、介護している事例を1件聞いている。高校生を含め、友人と遊べない、勉強もできないなど課題がある。現場ではどう対応していくのか。

答 学校では、こうした事例を前提に把握をお願いしている。

また、県はケアラー支援条例を制定する。市も支援していく。

問 家族が介護のために離職する「介護離職」をさせない支援が必要。介護従事者の待遇も、実態と比べると改善が不十分だが。

答 介護職の賃金も相対的には低い。改善は大きな課題だ。

コロナ対策と、市民のくらし改善優先に！

平間ますみ

久喜市本町8-4-1



幼児・児童・生徒にインフルエンザ予防接種補助金を

問 65歳以上の高齢者、60歳以上の疾患がある方の接種料金を県が負担することになったが、幼児、児童生徒に対する県の公的補助はない。市独自の支援策として補助を行い、保護者の負担軽減を行うべきと考える。

答 今回の補助は高齢者の自己負担分の補助であり、市の負担分の補助はない。予防接種の助成については、高齢者インフルエンザなど定期予防接種を基本としており、定期予防接種対象者以外である任意接種の幼児・児童・生徒に対する助成については考えていない。

公共交通運賃値上げはやめるべき

問 市内循環バス、デマンドタクシーの値上げが11月5日の久喜市地域公共交通会議で検討され、決定した。事業者との共存を値上げで解決する在り方は自治体として最悪の施策だ。値上げによって民間の経営がどのように改善されるのかも示されていない。市民の交通利便性の向上、交通弱者の交通確保などの市の方針とも違う。実施時期など細かいことは市の判断という事であるが、市民の負担増となる計画はやめるべきである。

答 市が運行する公共交通が料金面で民間路線バスの脅威となっており、調和を図るため運賃改定の考えも示された。公共交通会議でまとまった運賃改定案を見直す考えはない。

石田としはる

久喜市栗橋東5-7-21



済生会栗橋病院との定期協議の内容は

問 済生会は病棟活用を事業者と協議中と聞くが確認したい。

答 329床を抱える病院。建物等どのように活用していくかも含め協議中で外来・救急機能を有する誘致に向け調整中と認識。

問 廃墟にはならない希望が見えて来た。市としても協議の中で用地の無償提供、環境整備など応援する姿勢を示すべきと考えるが。

答 病棟の調整は済生会が進めており答える状況にない。

大規模水害による犠牲者を出さない取り組みを

問 市は「避難判断決断ブック」を作成する。広域避難発令の記載はどのようにすすめているのか。

答 利根川中流4県境広域避難協議会で、自主的広域避難情報発信を検討中。発令時期、行動例を掲載し命を守る行動につなげたい。

問 埼玉県、結城市、古河市が指定する避難所に避難可能との情報を「避難判断決断ブック」に掲載すべきと考えるが。

答 各市町村が開設した避難所に居住地を問わず避難可能。新型コロナウイルス感染症が終息しない中掲載はしない。

問 台風19号の資料では、群馬県の西の牧地域で7時頃大量の雨量が観測され、避難情報は遅かったと言えるがいかがか。

答 国、県、気象庁、関係機関は、遠くに避難する早めの広域避難情報を検討中。内容は72時間先の上流における降雨量などを判断して動き始めることなど。市としても注視してい